

北元と高麗との関係に対する考察 – 禡王時代の関係を中心に–

ツェックメッド・ツェレンドルジ Tsegmed Tserendorj
(モンゴル国科学院歴史研究所)

発表要旨

明に首都を奪われ北への撤退を余儀なくされた 1368 年から 1388 年までの元を「北元」と呼ぶ。北元の時期は、中元の覇者がはっきりせず、情勢がどのように変わるか予断を許さない過渡期的な時期であった。

北元と高麗の関係は、大きく「恭愍王時代の関係」と「禡王時代の関係」という二つの時期に分類することができる。恭愍王時代には元と明が角逐をしている隙をみて高麗は自主性を強化させる政策を行なった。1369 年、恭愍王政権は、元との関係を断絶し、明と事大関係を構築した。それだけでなく、元の領土を征伐するなど、敵対的な態度を示した。恭愍王のこうした処置はあまりにも性急な判断であった。そうしながらも恭愍王は、事実上北元とも関係を完全に断ち切れず両端関係を結んでいた。

1372 年を前後に北元は、内外の安定を回復させ、高麗に対する外交活動も活発化した。しかし、恭愍王が親明政策を頑なに固守したため、高麗に対する懐柔政策は失敗した。

恭愍王を継承した禡王時代から高麗と北元関係には大きな変化が見られた。高麗は、ただ明と事大関係を維持するだけでなく、一時期国交が断絶していた北元とも関係修復を試みた。しかし、このような試みは反対勢力の猛烈な反対により、紆余曲折の末、やっと達成された。

高麗の北元との関係再開は、恭愍王の一方的な外交政策を修正し、明をけん制しようとする北元と高麗の実質的な必要性から始まった当時東アジア勢力バランスを維持しようとする努力の結果であった。

本稿では、禡王時代の北元と高麗との関係の推進過程、そしてこの関係が当時東アジアの歴史に及ぼした影響及び結果に関して全体的に検討してみたい。

略歴

1999 年 モンゴル国立ウランバートル大学卒業

2010 年 大韓民国韓国学中央研究院博士課程卒業。文学博士（歴史学）

専攻：中世韓－蒙関係史

主要著作：

1. Chinggis khan (encyclopedia), co-author, Ulaanbaatar, 2006
2. Encyclopedia of history and culture of the Mongols /co-author/, Ulaanbaatar, 2004, 2006
3. History of the Yuan dynasty /元史/ (A Mongolian translation from Chinese by Ch. Dandaa), Volume I–XII, Foreword and textological study by Ts.Tserendorj, Ulaanbaatar, 2003
4. Saran-u gerel /Moonlight/. Biography of Zaya bandita of Oirat (Textological study, foreword and index by A.Ochir and Ts.Tserendorj), Ulaanbaatar, 2008
5. Iltgel shastir /欽定外藩蒙古回部王公表伝/, Chapter 1-44, (Transliteration from Old Mongol into Modern Mongolian and comments by Tsegmed Tserendorj and others), Ulaanbaatar, 2007
6. Manchu Veritable Records /満州実録/ (Transliteration from Old Mongol into Modern Mongolian and comments by Tsegmed Tserendorj), Ulaanbaatar, 2009
7. Ogeled-un noyad-un ug eki /Origin of Olet noblemen/, (Textological study, foreword and index by Ts.Tserendorj), Ulaanbaatar, 2010
8. Samguk yusa (三国遺事)” (translation from Korean into Mongolian with J.Gantulga), Ulaanbaatar, 2009
9. Yangban- The ruling class of Korean traditional society, Seoul, 2013
10. A study on a royal mausoleum of ancient nomads, Ulaanbaatar, 2013
11. Parhae-ko (渤海考), (translation from Korean into Mongolian), Ulaanbaatar, 2014
12. Khubilai Khan and his successors, Ulaanbaatar, 2015
13. 東西文化交流とアルタイ // アジア学術研究叢書 7 / アルタイ学シリーズ 3 : 亦楽, 2016 (共著)

(翻訳：李へり)